

12 がっひかりごう

令和元年12月1日 輝保育園

真っ赤な紅葉が園庭に落ち、「先生！ 赤い！ きれいね」と見せにきてくれた 2 才児さん。子ども達も季節の移り変わりを感じているようです。今月は、クリスマス会を楽しんだり、年末を意識して、大掃除をしたりして過ごします。ご家庭でも、大掃除の手伝いや、新年の準備をお家の方と経験することで、子ども達の生活感覚が、更に広がることでしょう。

【 マラソン 】

マラソンが始まります。

病気に負けない身体、最後まで頑張る心を目指しています。

ご家庭では十分な休養と栄養そして、早起きの励行をお願いします。

★ おおみそか(大晦日) ★

「みそか」とは、月の最終日という意味です。

そして、1 年の最後の「みそか」、つまり、最後の月の最終日を大晦日といいます。大晦日の夜は年越しそばを食べます。

健康長寿、1 年の災厄を断ち切ることを願って食べるといわれています。

★ 19 日(木)のクリスマス会の後、集合写真撮影があります。欠席が無いようにお願いします。

= 12 月の行事予定 =

- 5 日(木) 避難訓練
- 19 日(木) 身体測定、お誕生会
クリスマス会
集合写真
- 28 日(土) 保育納め
- 29 日(日)
- 1 月 3 日(金)
- 4 日(土) 保育始め



= ナース・レポート =

【 インフルエンザ 異例の早さで全国的に流行シーズン入り 】

先週 15 日、厚生労働省が、「インフルエンザが全国的な流行シーズンに入った」と発表し、注意を呼び掛けている。

例年、インフルエンザは 12 月から 3 月にかけて流行するが、今年はほぼ 2 ~ 3 週間ほど早く流行が始まったことになる。

11 月中旬での「流行入り」は現行の統計を取り始めた 1999 年以降新型インフルエンザが猛威を振るった 2009 年を除くと、最も早いというから事態は深刻だ。

参考までに現在、確認されているウイルスは、9 割が 09 年に新型として流行した H1N1 型。

流行中にさらに別のタイプのウイルスが流行することも多い。

ワクチンには 4 種類のタイプが含まれている。

一度かかった人も接種を受けるのが無難ということだ。

2019 11/25 付
日刊ゲンダイ DIGITAL より抜粋

ワクチン接種していると、発症した場合でも重症化を防ぐ働きがあります。

これは子どもや高齢者にとっては大切なことです。

インフルエンザは世代を問わず、みんなが抱える問題です。

自分自身が感染することを防ぐため、そして周囲の人へ感染させることを防ぐためにも、ワクチンの接種を受けましょう。

《 《 《 お願い 》 》 》

1. クリアケースの中と、お便り帳を毎日確認してください。
2. お金などの貴重品は、必ず職員に手渡しをお願いします。
3. 持ち物や衣類には名前の記入をお願いします。名前が薄くなっていないか、もう一度確認をして下さい。
4. 夜更かしをさせず、早寝・早起をし、しっかり朝食を摂りましょう。
5. 毎日入浴させ、清潔にしましょう。

☆☆ 就学前幼児の家庭教育 ☆☆

入学前に身に付けておきたいこと

2. 自分から進んで「あいさつ」ができるようにしましょう！

子どもが自ら進んであいさつができるように意識付けをしていきましょう。

そのために、あいさつを交わす機会を増やしたり、あいさつを自らできたらほめたりしましょう。

また、親が気持ちの良いあいさつの手本を示すことも必要です。

あいさつをきっかけとして人とかわる経験を積むことで、相手を思いやる気持ちをはぐくんだり、友達との望ましい人間関係づくりをはぐくんだりすることができます。

3. 友達との遊びを通して多くのことを学ばせましょう！

友達との遊びの経験を通して社会性をはぐくまれていきます。

相手を大切にしたり、相手から大切にされたりすることや、友達とのけんか、仲直りの仕方、自主性など、実際に友達とかわることでしか得ることができない多くのことを学びます。

このことは、子どもがこれから社会生活を営んでいく上ではとても大切なことです。

将来にわたって必要な対人関係や社会性の基礎をこの期に身に付けさせたいものです。

「教育力向上福岡県民運動
ホームページ」より抜粋

こどもものようす

たんぼぼぐみ

0 才児



秋晴れの空の下、運動場に出掛ける機会が多く取れました。運動場では三輪車に砂場、ウッドクライムや太鼓橋などの固定遊具と魅力あるものばかりがあります。砂場ではスコップを片手に砂をすくいバケツに入れることを繰り返しています。スプーン使いに通じる微細運動が促され手首の運動機能も発達しています。三輪車の挑戦している子はまずは乗る所から。ハンドルが不安定で転倒しそうになり、難しいようです。それでも諦めずに何度も挑戦しました。今ではスムーズに乗れるようになり今度は前に行くためにはどうしたら良いかを考えて乗っています。ウッドクライムや太鼓橋ではよじ登る、跨ぐなど体のあらゆる所を使い果敢に挑戦しています。少し高い所でも臆することなくどんどん登っていきます。体幹も鍛えられまた逞しくなったように感じます。

たんぼぼぐみ

1 才児



低月齢の子たちも、運動場で遊ぶようになりました。砂遊びが大好きで、外遊びの時間ずっと砂遊びをしている子、固定遊具やスケーターや三輪車に興味を持ち挑戦しようとする子と様々ですが、それぞれ興味のあること、楽しいことをみつけて遊んでいます。「〇ちゃん」と、お友達の名前を呼んで遊びに誘う姿もよく見られるようになってきました。少しずつお友達にも興味が出てくる時期です。一緒に過ごすことが多くなると、思いの違いから、トラブルになることもあります。その都度、保育者が互いの思いを代弁しながら、仲立ちしています。一緒に遊ぶこと、生活することが楽しいと感じられるよう、保育者も一緒に楽しみながら過ごしています。

すみれぐみ

2 才児



言葉で自分の思いを伝えることができるようになり、「先生、あのねー」と、最近あった出来事を、保育士に話す姿が増えてきました。一人が話し始めると、「僕も！」「私も！」とたくさんお話をしてくれます。話したいこと、伝えたい相手がいることで、子どもたちの思いが広がり、言葉のやり取りの楽しさを経験しています。最近、寒くなり上着を着てくる子が増えました。戸外へ行くとき、着る練習を頑張っています。「難しいけど自分でやってみよう！」という思いから、諦めずに取り組む姿が見られます。頑張った分、出来たときの喜びも大きく、「先生、出来た！」と目を輝かせている子ども達です。ご家庭でも、先回りして色々としてあげるのではなく、子ども達の「やってみよう」という気持ちに寄り添い、温かく見守ってください。ご協力をお願いします。

ちゅうりっぷぐみ

3 才児



「一緒に遊ぼう！」など、誘い合って遊ぶ姿が増えてきました。仲の良い友達と手を繋ぎ、他の友達を誘いに行く姿も見られ友達関係が広がっています。一方、玩具の取り合いになり友達への不満が募ることも。「貸してって言ったのに貸してくれない」「まだ使ってるもん」など、夫々の言い分があります。悲しさや悔しさを感じ、泣いたり怒ったりと全面に負の感情を出していました。そこで、互いの気持ちを知らずから始め、「終わったら貸してね」と「待つ」ことや「我慢する」することの経験を重ね、同時に、待っていたら貸してもらえらという経験を重ねています。友達に貸すという行為は、「貸してもらおう」という行為になって自分にも返ってきます。貸してもらった喜びから友達の優しさを感じ、人への信頼や親しみへと繋がっていくことを願っています。

ばらぐみ

4 才児



先月、チューリップを植えました。水やりしたり、球根が見えていると土をかけてあげたり、お世話しながら日々観察しています。室内では、最近、ぬり絵を夢中でしています。細かいところも色を使い分け、線に沿ってはみ出さないよう、集中して取り組んでいる姿が見られます。塗り終えることで達成感が生まれ、褒められることで自己肯定感が高まります。また、鉛筆の持ち方を改めて伝えた後から、自分の持ち方を確認したり、友達の持ち方も見たり、意識して正しく持つ姿が見られています。鉛筆を持つようになると、文字にも興味が出始め、自分の名前を書いてみたりお手紙を書いてみたりするようになりました。手先が器用になってくるこの時期、手指の力の育ちを高める活動を増やし、自己肯定感が高まるよう、取り組んでいきます。

ひまわりぐみ

5 才児



10 月末に行われた幼年消防クラブ大会では市内の保育園や幼稚園を代表して大きなステージに立ち、合奏と体操を披露しました。大きな拍手をもらい、達成感を感じることができました。また、散歩中に拾ったどんぐりや葉っぱを使ってケーキやパフェを作り、お店屋さんごっこを楽しみました。みんなでアイデアを出し合い、保育室にあるものをお金、クリーム、ソース、メニューに見立てて遊びに取り入れていました。戸外では集団遊びやルールのある遊びが盛んです。今まであまり集団の中に入ろうとしなかった子も一緒に遊ぶようになりました。遊び方やルールを考え、「僕が考えた遊びをみんながしてる」と友だちに受け入れられた喜びを感じています。